

Aging with grace  
女を磨き、男を癒す

Vol.8

健康的にそして美しく年齢を重ねること——  
それはもはや女性だけのものでなく、今では  
男性にとっても関心のある永遠のテーマだ。  
男女両方の視点から、毎月さまざまなテーマを語り合う。

倉田真由美、中村貞裕=文  
txt by Mayumi Kurata and Sadahiro Nakamura

健康的にそして美しく年齢を重ねること——それはもはや女性だけのものでなく、今では男性にとっても関心のある永遠のテーマだ。男女両方の視点から、毎月さまざまなテーマを語り合う。

衣理クリニックス表

そのものは、あまり個人差がないといわれる。

# Woman

エレガンスの対極にあるもの——それは大人の“たるみ毛穴”

「ミイ」がおすすすめ。まるでパテのように毛穴やキメの凹凸にフィットし、なめしたようになめらかな状態をつくる。

今日や日本女性にとって最大の悩みともいえる毛穴。自分の肌を鏡でしげしげと見つめては「毛穴を消したい」と本気でいう人もいるが、もし方が一、はんとくに毛穴がなくなってしまう一大事。顔だけでおよそ20万個近くもある毛穴には、皮脂や汗を外に出すという大切な働きがあるのだから。乾燥肌の人よりオイリー肌の人の方が、女性より男性の方が、毛穴がたくさんあるように感じられるけれど、それは錯覚にすぎない。毛穴から生えているうぶ毛やヒゲが太かったり、皮脂の分泌が盛んだと、毛穴がツブツブにくつきり口を開けたような状態になってしまっているために、そう感じられるだけ。毛穴の数

参道の「毛穴スリム・スペシャル」では、アレキサンドレーザというソフトなレーザーを照射することで、毛穴に生えているうぶ毛を処理するとともに不要となった角質を取り去り、つるんとしたなめらかな肌を取り戻す。ほどよい刺激により毛穴がひきしまり、コラーゲンの産生もアップ。大人の毛穴の悩みにはとりわけ効果的だ。赤くなるなどのダウンタイムがないから、治療後は通常通りメイクをして帰宅することもできる。

毛穴が開いて凸凹としたキメの粗い肌は、男性ならまだしも、女性にはどうしたっていただけのない。メイクの仕上がりも悪く、脂ギツシユで不潔な感じに見えやすく、「オバサン」を通り越し、「オジサン」みたい肌になってしまうからだ。

Kurata Mayumi  
美容ジャーナリスト、女性誌編集者を経て独立。美容ジャーナリストの専任記者として約15年以上のキャリアを持つ。本誌をはじめとする女性誌やTV番組などで執筆するほか、美容にまつわる講演なども行う。

「毛穴」のためのおすすすめクリニック&アイテム

for women

ERI CLINIC OMOTESANDO  
(衣理クリニック表参道)  
東京都港区北青山3-5-30  
入来ビル4F  
tel.03-5786-0077  
www.eri-clinic.com  
診療時間：午前11時～午後6時  
※月として毎週火曜と第1、2、3日曜定休  
※「毛穴スリム・スペシャル」 ¥105,000




右：オプティマイザー ポア ミニマイジング ローション 2Xml ¥5,775 / エスティ ローダー (tel.03 5251-3385) 中：トップシークレット ラディアント スキンケア ブラッシュ 40ml ¥7,655 / イヴ・ナンローラン・パルファン (tel.0120-006-912) 左：メイクアップベース クリーミー 15g ¥5,250 / SUQQU (tel.0120-988-761)